



令和7年2月18日

【照会先】

大分労働局 労働基準部

健康安全課長 嶋田 高彰

課長補佐 小野 伸太郎

電話 097-536-3213

報道関係者 各位

建設業の死亡労働災害ゼロの見込み

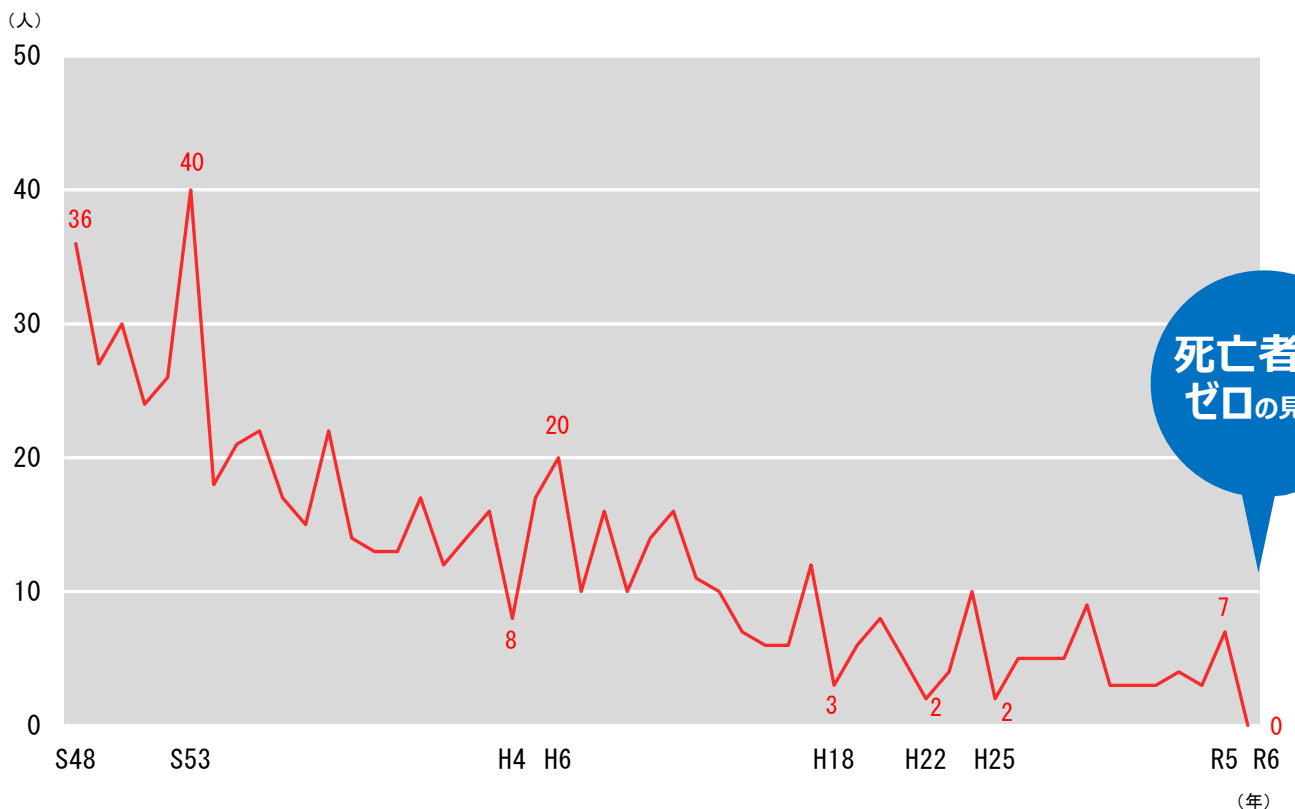
～ 記録が残る昭和48年以来、初めての達成 ～

大分労働局（局長 佐藤 広道）では、県内で発生した労働災害について、死亡を含む休業4日以上労働災害件数を毎年公表していますが、令和6年の建設業の労働災害による死亡者数がゼロとなる見込みとなりました。1年間を通じて建設業の労働災害による死亡者数ゼロは、記録が残る昭和48年以来、初めてのこととなります。

これは労働局だけでなく、労働災害防止団体を始めとした関係機関の協力と、各事業場における労働災害防止の取組の成果と考えています。

大分労働局では、引き続き、労働災害の減少に向けて取り組んでいくこととしています。

建設業における労働災害による死亡者数の推移



これまでの主な取組事項

1 大分労働局及び各労働基準監督署における取組

(1) パトロールの実施

令和6年度は、安全意識の高揚を図るため、大分労働基準監督署及び日田労働基準監督署において、建設現場の安全パトロールを実施しました。



(2) 各建設現場2項目重点労働災害防止運動の実施

各建設現場において、特に遵守すべき2項目を絞り込み、安全意識の高揚と、安全作業の意思統一をするものです。大分労働局HPへの掲載に同意いただいた現場は、提出から1年間掲載しています。令和6年度は、260現場から提出がありました(令和7年1月末現在)。

2項目重点労働災害防止運動

〇〇建設(株) 〇〇工事

「これだけは絶対を守るぞ！」

- ① クレーン作業は、「3・3・3運動」実施で安全確認の徹底
- ② 名前で呼び合う声掛け運動の徹底で不安全行動の撲滅

(3) 緊急要請等の実施

死亡労働災害が短期に集中した令和6年1月には、労働災害防止団体に対し、文書要請を行いました。また、令和6年4月には、トラックによる死亡労働災害が発生したことを受けて緊急要請を行いました。



2 建設業労働災害防止協会大分県支部における取組

(1) 労働災害防止大会の開催

安全衛生意識の高揚を図るため、建設業関係者が一同に会する場として「大分県建設業安全大会」を毎年開催しています。令和5年9月に開催した大会では、建設業における死亡災害が急増したことを受け、非常事態宣言を発令し、県内の建設業者へ労働災害減少を訴えました。

(2) 安全講話・現場指導等

事業場の安全衛生大会における安全講話への講師派遣のほか、建設現場を訪問し、安全衛生対策のアドバイスをを行っています。

(3) 安全衛生教育等の実施

安全施工技術や安全衛生に関する知識・ノウハウ等を修得するための各種の安全衛生教育や技能講習、特別教育等を実施しています。

添付資料

- 1 建設業における労働災害による死亡者数の推移 (省略)
- 2 令和6年 業種別労働災害発生状況 (新型コロナウイルスり患者除く)
- 3 令和6年 業種別労働災害発生状況
- 4 令和6年 死亡労働災害発生状況

令和6年 業種別労働災害発生状況（新型コロナウイルス患者除く）

大分労働局

業種別	令和7年1月末速報値				死傷者 増減数	死傷者 前年比	過去確定値 (新型コロナウイルス除く)					
	令和6年		令和5年				令和5年		令和4年		令和3年	
	死亡	死傷	死亡	死傷			死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
1 食料品製造	0	49	0	49	0	100.0%	0	54	0	44	0	44
2 繊維工業	0	1	0	0	1		0	0	0	0	0	1
3 衣服その他の繊維	0	1	0	4	▲ 3	25.0%	0	4	0	3	0	0
4 木材・木製品	0	29	0	28	1	103.6%	0	28	0	25	0	29
5 家具・装備品	0	3	0	5	▲ 2	60.0%	0	5	0	5	0	6
6 パルプ等	0	4	0	3	1	133.3%	0	3	0	2	0	3
7 印刷・製本	0	3	0	1	2	300.0%	0	1	0	0	0	1
8 化学工業	0	13	0	11	2	118.2%	0	12	0	16	1	14
9 窯業土石	1	14	1	26	▲ 12	53.8%	1	26	0	18	0	19
10 鉄鋼業	0	10	1	6	4	166.7%	1	6	1	5	0	1
11 非鉄金属	0	2	0	3	▲ 1	66.7%	0	3	0	0	0	1
12 金属製品	1	27	1	30	▲ 3	90.0%	1	33	0	27	0	22
13 一般機械器具	0	6	0	7	▲ 1	85.7%	0	7	1	10	0	15
14 電気機械器具	0	8	0	13	▲ 5	61.5%	0	15	0	7	0	9
15 輸送機械製造	1	39	0	34	5	114.7%	0	37	0	52	0	35
16 電気・ガス	1	5	0	2	3	250.0%	0	2	0	4	0	1
17 その他の製造	0	22	1	21	1	104.8%	1	22	1	23	1	23
1 製造業	4	236	4	243	▲ 7	97.1%	4	258	3	241	2	224
2 鉱業	0	2	0	1	1	200.0%	0	1	0	0	0	2
1 土木工事業	0	66	6	80	▲ 14	82.5%	6	83	0	71	1	67
2 建築工事業	0	73	0	77	▲ 4	94.8%	0	79	2	85	2	90
3 その他の建設業	0	57	1	60	▲ 3	95.0%	1	63	1	52	1	33
3 建設業	0	196	7	217	▲ 21	90.3%	7	225	3	208	4	190
1 鉄道等	0	0	0	3	▲ 3	0.0%	0	3	0	1	0	1
2 道路旅客運送業	0	12	0	16	▲ 4	75.0%	0	17	0	8	0	13
3 道路貨物運送業	2	94	0	102	▲ 8	92.2%	0	102	1	108	3	112
4 その他の運輸交通業	0	4	0	1	3	400.0%	0	1	0	1	0	0
4 運輸交通業	2	110	0	122	▲ 12	90.2%	0	123	1	118	3	126
1 陸上貨物取扱業	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	2
2 港湾運送業	0	2	0	3	▲ 1	66.7%	0	3	0	5	0	3
5 貨物取扱業	0	2	0	3	▲ 1	66.7%	0	3	0	7	0	5
1 農業	0	24	0	23	1	104.3%	0	24	0	34	0	27
2 林業	0	47	0	33	14	142.4%	0	33	2	38	0	43
6 農林業	0	71	0	56	15	126.8%	0	57	2	72	0	70
1 畜産業	0	5	2	12	▲ 7	41.7%	2	13	0	12	0	19
2 水産業	0	8	1	3	5	266.7%	1	3	0	4	0	5
7 畜産・水産業	0	15	3	15	0	100.0%	3	16	0	16	0	24
1 卸売業	0	23	0	24	▲ 1	95.8%	0	25	0	28	0	17
2 小売業	1	161	2	166	▲ 5	97.0%	2	171	0	139	0	160
3 理美容業	0	3	0	2	1	150.0%	0	2	0	3	0	0
4 その他の商業	0	10	0	9	1	111.1%	0	10	0	12	0	9
8 商業	1	197	2	201	▲ 4	98.0%	2	208	0	182	0	186
9 金融広告業	0	9	0	16	▲ 7	56.3%	0	18	0	6	0	5
10 映画・演劇業	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	1
11 通信業	0	19	0	16	3	118.8%	0	16	0	9	0	18
12 教育研究	0	9	0	7	2	128.6%	0	7	0	13	0	9
1 医療保健業	0	56	0	55	1	101.8%	0	57	0	61	0	66
2 社会福祉施設	0	153	0	133	20	115.0%	0	144	0	136	0	134
3 その他の保健衛生	0	3	0	2	1	150.0%	0	2	0	1	0	1
13 保健衛生業	0	212	0	190	22	111.6%	0	203	0	198	0	201
1 旅館業	0	36	0	34	2	105.9%	0	37	0	34	0	32
2 飲食店	0	57	0	41	16	139.0%	0	43	0	47	0	29
3 その他の接客娯楽業	0	16	0	19	▲ 3	84.2%	0	20	0	22	0	20
14 接客娯楽業	0	109	0	94	15	116.0%	0	100	0	103	0	81
15 清掃・と畜業	0	81	0	63	18	128.6%	0	68	0	84	0	59
16 官公署	0	0	0	4	▲ 4	0.0%	0	4	0	1	0	0
17 その他の事業	1	56	0	36	20	155.6%	0	40	0	45	1	28
第三次産業（8～17号の合計）	2	692	2	627	65	110.4%	2	664	0	641	1	588
合計	8	1,324	16	1,284	40	103.1%	16	1,347	9	1,303	10	1,229

(注) 死亡者数は死傷者数の内数。

令和6年 業種別労働災害発生状況

業種別	令和7年1月末速報値				死傷者 増減数	死傷者 前年比	〔参考〕過去確定値					
	令和6年		令和5年				令和5年		令和4年		令和3年	
	死亡	死傷	死亡	死傷			死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
1 食料品製造	0	49	0	49	0	100.0%	0	54	0	49	0	44
2 繊維工業	0	1	0	0	1		0	0	0	0	0	1
3 衣服その他の繊維	0	1	0	4	▲ 3	25.0%	0	4	0	3	0	0
4 木材・木製品	0	29	0	28	1	103.6%	0	28	0	25	0	29
5 家具・装備品	0	3	0	5	▲ 2	60.0%	0	5	0	5	0	6
6 パルプ等	0	4	0	3	1	133.3%	0	3	0	2	0	3
7 印刷・製本	0	3	0	1	2	300.0%	0	1	0	1	0	1
8 化学工業	0	13	0	11	2	118.2%	0	12	0	18	1	20
9 窯業土石	1	14	1	26	▲ 12	53.8%	1	26	0	18	0	19
10 鉄鋼業	0	10	1	6	4	166.7%	1	6	1	5	0	2
11 非鉄金属	0	2	0	3	▲ 1	66.7%	0	3	0	0	0	1
12 金属製品	1	27	1	32	▲ 5	84.4%	1	35	0	27	0	22
13 一般機械器具	0	6	0	7	▲ 1	85.7%	0	7	1	11	0	15
14 電気機械器具	0	8	0	13	▲ 5	61.5%	0	15	0	7	0	9
15 輸送機械製造	1	39	0	34	5	114.7%	0	37	0	52	0	39
16 電気・ガス	1	5	0	9	▲ 4	55.6%	0	9	0	20	0	1
17 その他の製造	0	22	1	21	1	104.8%	1	22	1	26	1	23
1 製造業	4	236	4	252	▲ 16	93.7%	4	267	3	269	2	235
2 鉱業	0	2	0	1	1	200.0%	0	1	0	0	0	2
1 土木工事業	0	66	6	80	▲ 14	82.5%	6	83	0	77	1	68
2 建築工事業	0	73	0	78	▲ 5	93.6%	0	80	2	87	2	94
3 その他の建設業	0	57	1	62	▲ 5	91.9%	1	65	1	63	1	39
3 建設業	0	196	7	220	▲ 24	89.1%	7	228	3	227	4	201
1 鉄道等	0	0	0	3	▲ 3	0.0%	0	3	0	1	0	1
2 道路旅客運送業	0	12	0	16	▲ 4	75.0%	0	17	0	9	0	13
3 道路貨物運送業	2	94	0	102	▲ 8	92.2%	0	102	1	112	3	112
4 その他の運輸交通業	0	4	0	1	3	400.0%	0	1	0	1	0	0
4 運輸交通業	2	110	0	122	▲ 12	90.2%	0	123	1	123	3	126
1 陸上貨物取扱業	0	0	0	0	0		0	0	0	2	0	2
2 港湾運送業	0	2	0	3	▲ 1	66.7%	0	3	0	5	0	3
5 貨物取扱業	0	2	0	3	▲ 1	66.7%	0	3	0	7	0	5
1 農業	0	24	0	23	1	104.3%	0	24	0	48	0	27
2 林業	0	49	0	33	16	148.5%	0	33	2	38	0	43
6 農林業	0	73	0	56	17	130.4%	0	57	2	86	0	70
1 畜産業	0	7	2	12	▲ 5	58.3%	2	13	0	12	0	19
2 水産業	0	8	1	3	5	266.7%	1	3	0	4	0	5
7 畜産・水産業	0	15	3	15	0	100.0%	3	16	0	16	0	24
1 卸売業	0	23	0	24	▲ 1	95.8%	0	25	0	31	0	25
2 小売業	1	161	2	166	▲ 5	97.0%	2	171	0	154	0	164
3 理美容業	0	3	0	2	1	150.0%	0	3	0	6	0	1
4 その他の商業	0	10	0	9	1	111.1%	0	10	0	12	0	10
8 商業	1	197	2	201	▲ 4	98.0%	2	209	0	203	0	200
9 金融広告業	0	9	0	16	▲ 7	56.3%	0	18	0	9	0	5
10 映画・演劇業	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	1
11 通信業	0	19	0	16	3	118.8%	0	16	0	14	0	29
12 教育研究	0	10	0	11	▲ 1	90.9%	0	11	0	42	0	10
1 医療保健業	0	112	0	218	▲ 106	51.4%	0	220	0	891	0	100
2 社会福祉施設	0	176	0	257	▲ 81	68.5%	0	270	0	799	0	183
3 その他の保健衛生	0	3	0	2	1	150.0%	0	2	0	2	0	1
13 保健衛生業	0	291	0	477	▲ 186	61.0%	0	492	0	1,692	0	284
1 旅館業	0	36	0	36	0	100.0%	0	39	0	35	0	32
2 飲食店	0	57	0	41	16	139.0%	0	43	0	62	0	40
3 その他の接客娯楽業	0	16	0	19	▲ 3	84.2%	0	20	0	22	0	23
14 接客娯楽業	0	109	0	96	13	113.5%	0	102	0	119	0	95
15 清掃・と畜業	0	81	0	64	17	126.6%	0	69	0	87	0	59
16 官公署	0	0	0	4	▲ 4	0.0%	0	4	0	2	0	0
17 その他の事業	1	56	0	36	20	155.6%	0	40	0	52	1	33
第三次産業（8～17号の合計）	2	772	2	921	▲ 149	83.8%	2	961	0	2,220	1	716
合計	8	1,406	16	1,590	▲ 184	88.4%	16	1,656	9	2,948	10	1,379
①新型コロナウイルスり患者数	0	82	0	306	▲ 224	26.8%	0	309	0	1,645	0	150
合計（①を除く）	8	1,324	16	1,284	40	103.1%	16	1,347	9	1,303	10	1,229

（注）死亡者数は死傷者数の内数。

令和6年 死亡労働災害発生状況

令和7年2月10日現在
大分労働局

No.	発生月	性別	職種	災害発生状況
	時間帯	年齢	経 験	
	業 種	事 故 の 型		
		起 因 物		
1	1月	男	作業員	クレーン（つり上げ荷重2.8t）を用いてアルミ板2枚（合計重量約250kg）をつり上げて移動させていたところ、クレーンのフックから吊り具のベルトが外れたため、アルミ板が落下し、頭部に激突したものの。
	15時台	20代	7年	
	金属製品製造業	飛来、落下 クレーン		
2	4月	男	運転手	無人のミキサー車が前進し始めたため、同車に走って近づいたところ、ミキサー車が法面で横転し、地面と車体との間に挟まれたものの。
	11時台	50代	7年	
	窯業土石製品製造業	はさまれ、巻き込まれ トラック		
3	4月	男	運転手	停泊中の貨物船内で、トレーラーヘッドとトレーラーの連結作業中、無人の当該車両が前進し始めたため、運転席に走って近づいたところ、車両と船舶内壁との間に挟まれたものの。
	18時台	50代	26年	
	道路貨物運送業	はさまれ、巻き込まれ トラック		
4	4月	男	運転手	国道を積載型トラッククレーンで走行中、対向してきた大型トレーラーと正面衝突したものの。
	5時台	50代	2か月	
	道路貨物運送業	交通事故(道路) トラック		
5	5月	女	販売員	ガソリンスタンドで、乗用車を洗車機内へ誘導していたところ、乗用車の運転手が操作を誤ったため、乗用車と壁との間に挟まれたものの。
	15時台	30代	3年	
	小売業	はさまれ、巻き込まれ 乗用車、バス、バイク		
6	8月	男	警備員	道路改良工事現場で交通誘導を行っていたところ、熱中症により倒れ、翌日に死亡したものの。
	15時台	50代	2年	
	その他の事業	高温・低温の物との接触 高温・低温環境		
7	9月	男	点検員	太陽光発電所の見回り点検に一人で行ったが、同日、事務所に帰ってこなかった。翌日に発電所敷地内の雑木林で倒れているところを発見されたものの。
	11時台	80代	4年	
	電気・ガス・水道業	転倒 地山、岩石		
8	10月	男	作業員	建造中の船舶のタンク内部で塗装作業を行っていたところ、有機溶剤のガスに引火して爆発したものの。
	15時台	70代	50年	
	輸送用機械等製造業	爆発 可燃性のガス		